



今月から始まる土砂搬出のために購入した超大型ダンプカーは、積載量120t級で日本最大。その長さは11m、高さ5.6m、総排気量37,700cc、燃料タンクは1,900ℓ。

平成元年度、県の予算は、三千八百八十三億円。この土取りやマリーナシティ、新白浜空港の建設などのビッグプロジェクト、道路、新しいふるさとづくりなどを中心に「新時代投資重点型予算」を組みました。

和歌山市加太。巨大なショベルカーが土砂をすくい、超大型ダンプカーが走る。関西国際空港埋め立ての土取り現場は、力強く、活気に満ちている。

新時代へ積極的に投資



県民の友

義務的経費を抑えた 投資重点型

平成元年度県予算は三千八百八十三億円

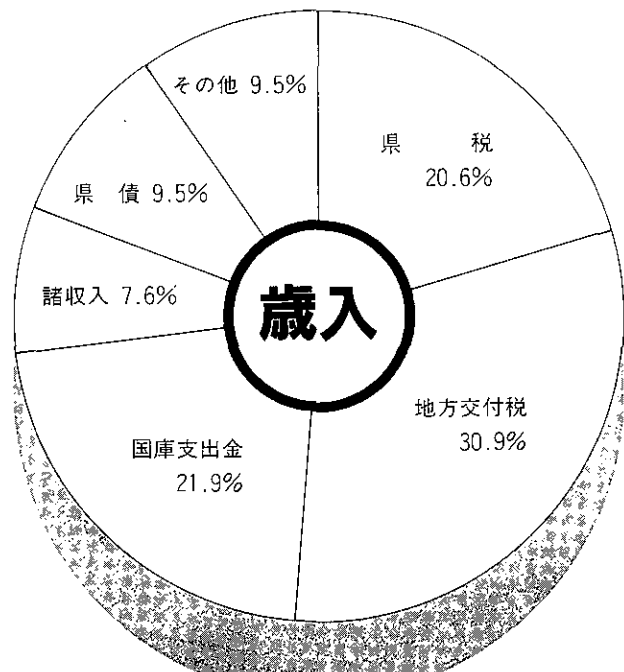
産業技術の高度化、余暇時間の増大など日本を取り巻く環境は急激なスピードで変わっています。私たちは今、新しい時代のなかに進もうとしているのです。

和歌山県を取り巻く環境も大きく変化しています。関西新空港の開港、近畿自動車道と和歌山線の南伸、南紀白浜空港のジェット化や紀勢本線の新大阪接続など、国土軸との直結が果たされることになり、いまだかつてない飛躍のチャンスを迎えています。

本年度の県予算は、一般会計三八八三億三七六一万五千元、特別会計六九二億三七二一八千円。税制改革により県税収入が伸びなやむなか、人件費等義務的経費をできるだけ抑え、メリハリをきかせた投資重点型予算を組みました。

和歌山マリーナシティや美術館、図書館の建設、県立医科大学の移転などのビッグプロジェクトや産業技術の高度化など二十一世紀に向けた事業に積極的に取り組み、一方、民生、衛生、教育、文化などの面においてもキメ細かな施策を展開していきます。

県民みんなが生まれてよかった、住んでよかったと思えるような「ふるさと」の未来にむけた予算です。



歳入	平成元年度予算額 (百万円)	構成比 (%)
県税	80,009	20.6
地方交付税	120,000	30.9
国庫支出金	85,204	21.9
諸収入	29,356	7.6
県債	36,968	9.5
地方譲与税	6,675	1.7
交通安全対策 特別交付金	582	0.2
分担金・負担金	7,376	1.9
使用料・手数料	7,294	1.9
財産収入	2,258	0.6
寄付金	5	0.0
繰入金	12,611	3.2
歳入合計	388,338	100.0

ご協力をお願いします

4月1日から消費税が導入されたことにより、県の施設の使用料や各種の手数料が以下のとおり改正されました。

●使用料については原則として3%を上乗せし、10円未満を切り捨てます。

(例)

県立自然博物館入館料

- 大人 400円×1.03=412円→2円を切り捨て410円に
- 高校生 300円×1.03=309円→9円を切り捨て300円に据え置き
- 小・中学生 200円、幼児100円もそのまま据え置き

県営住宅家賃(月額)

3,200円~49,000円を3,290円~50,470円に

- 手数料は原則として非課税ですが、衛生や工業関係などで、例えば飲料水の水質試験の手数料のように、民間と競合するものについては、使用料と同じように3%が上乗せされます。
 - また白浜有料道路や高野龍神スカイラインの通行料金も一部改正されます。
- みなさんのご理解とご協力をお願いします。



国道三七一号
橋本市の府県境界部四車線化、龍神

県民の友

国道四二四号
海南工区、桃山バイパスを完成し、
金屋バイパス、白馬トンネル、南部
川工区に着手 十二億四千五百万円

国道三一一号
新逢坂トンネル、皆地トンネルを完
成し、上富田町で稲葉根トンネルに
着手 三十一億三千万円

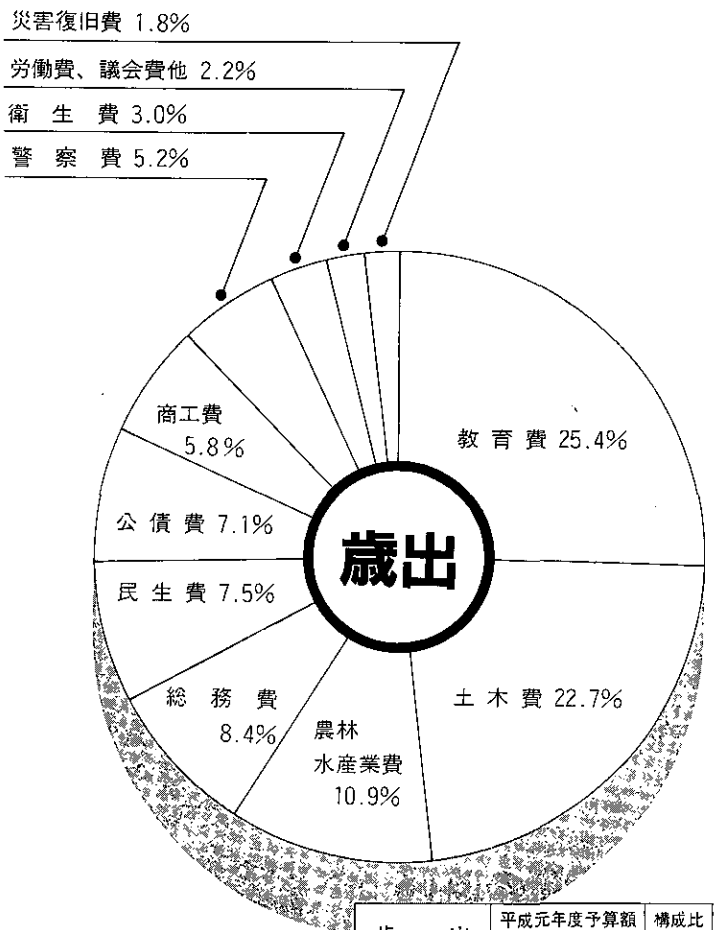
湯浅御坊道路
用地買収、一部工事開始 十八億円

新しい時代を開くのは、何といっ
ても道。本年度の道路関係の予算は、
四二四億二、八〇九万円、対前年度
比七・六パーセントの伸び。主な箇
所は次のとおりです。

道路網の整備

村殿原工区、中辺路工区の笠塔トン
ネルに着手 十億二千五百万円

その他、県道では、泉佐野岩出線、
岬加太港線、粉河加太線、姉子御坊
線、田辺十津川線、有田高野線、沖
野々森小手穂線など、都市計画街路
では、西脇山口線、和歌浦回線、和
歌山港鳴神山口線（和歌山市）、海
南駅連続立体交差（海南市）、元町
新庄線（田辺市）、上本町王子ヶ浜
線（新宮市）などの整備に重点をお
くとともに、紀の川地区、日高地区
の大型農道の整備にも二十一億千百
万円を計上しています。



歳出	平成元年度予算額 (百万円)	構成比 (%)
総務費	32,834	8.4
民生費	28,986	7.5
衛生費	11,771	3.0
農林水産業費	42,210	10.9
商工費	22,411	5.8
土木費	88,347	22.7
警察費	20,042	5.2
教育費	98,587	25.4
労働費	2,237	0.6
議会費	1,165	0.3
公債費	27,714	7.1
災害復旧費	6,899	1.8
諸支出金	5,035	1.3
予備費	100	0.0
歳出合計	388,338	100.0

同和对策事業と地方交付税

市町村が実施する同和对策事業には、
市町村単独事業と、県費補助事業及び国
庫補助事業があります。そのうちで国庫
補助事業については、国庫補助金と地方
債がその財源となります。

地方債は、市町村の借金であり後年度
に返済しなければなりません。国庫補
助事業の地方負担に充てる財源として発
行した地方債の元利償還金については、
原則としてその八割が普通交付税として
還元されます。

つまり、国庫補助率三分の二の同和对
策事業の場合、残りの三分の一の地方負
担を地方債で財源措置すると、その元利
償還金の五分の四が普通交付税で交付さ
れるため、市町村の最終負担割合は、
 $\frac{1}{2} \times \frac{4}{5} = \frac{2}{5}$ で約 6・7割となります。さ
らに、市町村が単独で行う事業など普通
交付税で財源措置されないものについて
も、特別交付税により市町村の財政負担
の軽減が図られています。

昭和六十三年で措置された特別交付
税は約三十四億円です。

生きがいある 「ふるさと和歌山」創生へ

ビッグプロジェクトの推進や道路網の整備とあわせ、みなさんが直接関係のある分野においてもキメ細かな諸施策を展開していきます。紙面の都合で全部は紹介できませんが、各分野からユニークな事業を紹介します。

力強い地域産業の発展

ニューセラミックス応用技術研究

(8,033万円)

工業試験場に、ニューセラミックスを応用した新機能製品の開発研究を行うための先端機器を設置し、金属機械、プラスチック業界等の技術革新を図る。

かんきつ産地緊急対策

(3億7,864万円)

オレンジ自由化対策として、コストの低減、高品質果樹の生産のため種苗供給センターを設置し、流通施設の整備を行う。

海洋開発の推進

(4億6,849万円)

熊野灘海域海洋牧場構想の推進。

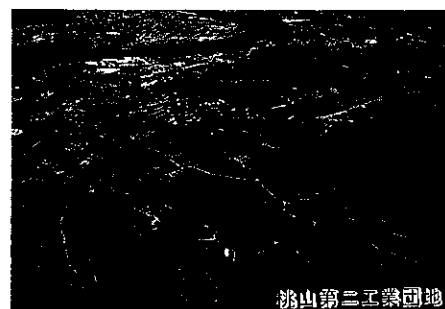
商工会館建設補助

(2,575万円)

地域の小規模商工業者の拠点となる商工会館(今年度は上富田町)の建設に対し補助。

企業立地の促進

(7億5,000万円)



桃山第二工業団地

企業立地促進資金貸付の融資額を10億円に拡大し、対象市町村を現行の17から全市町村に拡大する。

ふるさと森林活性化対策

(1,216万円)

森林組合にパソコンを導入し、情報ネットワーク構築を推進する。



新幹線直結記念キャンペーン

(1億5,450万円)

この夏に予定されている特急くろしおの新大阪乗り入れを機により多くの観光客の誘致を図る。

健康・福祉の推進

古座保健所の新築

(3億2,449万円)

鉄筋コンクリート二階建て(850㎡)の保健所を現地で建て替え。

高等看護学院の改修

(1億7,084万円)

看護学科第2部の定員を30人から45人に増やし、教室等の整備充実を図る。

済生会有田病院建設補助

(1億円)

病床数150床の公的総合病院済生会有田病院の新築移転補助

デイサービス、老人家庭奉仕員の増員、ナイトケア等の実施

(3億3,039万円)

ねたきり老人とその看護家庭の負担の軽減を図る。

県立医科大学附属病院高度集中治療センターの開設

(6,392万円)

ICU(集中強化治療室)、CCU(冠状動脈疾患集中治療室)、無菌室の設置。

南紀療育園の新築移転

(10億1,025万円)

牟婁あゆみ園隣接地に新築移転する。定員は精神薄弱者30人、精神薄弱児50人。



同和問題の早期解決

(142億513万円)

一日も早い同和問題の解決のための諸施策を展開する。

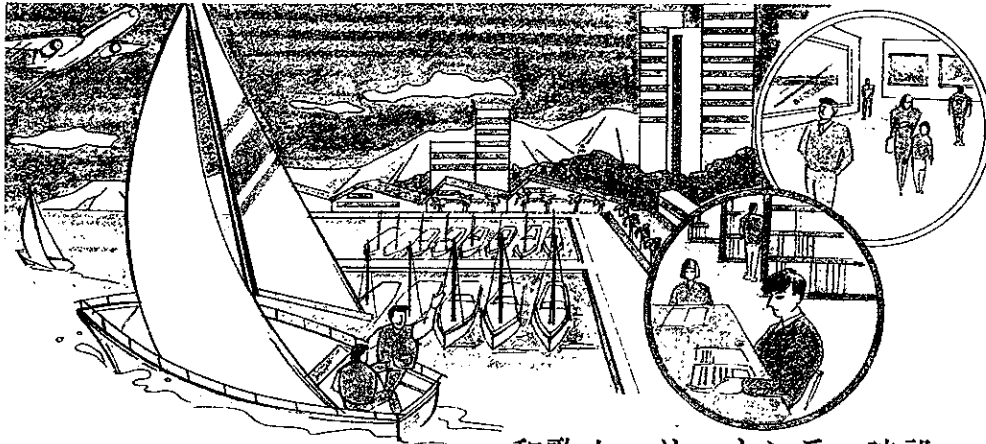
鑑識科学センターの新築

(3億4,481万円)

年々複雑多様化する各種犯罪に対処するため、鑑識科学センターを交通センターの敷地内に建設。

ビッグプロジェクト 本格的に始動

今、和歌山県では、ビッグプロジェクトが目白押し。いずれも長い年月と巨費が必要ですが、長期的視野に立ち事業を展開します。



和歌山マリーナシティ建設

(49億4,553万円)

平成5年マリーナ施設の一部供用開始を目指し、今年から埋め立て工事に着手します。

また、人工島の一部を埋め立てるため第三セクターを設立。

新白浜空港建設

(58億2,262万円)

平成6年4月開港にむけて用地を買収し、工事に取りかかります。昭和63年度から平成5年度までの全体予算は約350億円。

新美術館建設

(8,127万円)

和歌山大学教育学部跡地に新美術館を建設するための予算で、本年度は、設計に着手。

また、美術品取得のための基金10億円を計上。

新県立図書館建設

(10億7,258万円)

和歌山大学経済学部跡地に図書館を建設するための予算で、本年度は、建設用地の購入と設計に着手。

また、16,000冊分の図書を購入するための予算(5,147万円)と蔵書管理コンピュータ化のための予算(5,635万円)を計上。

県立医科大学統合移転

(6,180万円)

競馬場跡地に移転することが決定した県立医科大学の基本構想、基本計画、測量調査のための予算。

教育・文化の振興

高等学校施設整備

(23億8,262万円)

紀北農芸、紀北工業、笠田、那賀、星林、南部、田辺工業高校などの施設を整備。



新設学科整備

(3,296万円)

笠田高校と御坊商工高校に会計科、情報処理科を設置。

養護学校の整備

新宮、東牟婁地方

平成2年4月開校予定、6億7,218万円

有田、日高地方

平成3年4月開校予定、4億3,051万円

わかやまこどもの集い開催

(721万円)

「友情と活動」をテーマに子どもたちに野外キャンプ、ボランティア活動などを体験させる。



友好提携5周年記念 県民の翼

(222万円)

中国・山東省との友好提携5周年を記念し、各分野から訪中200人を公募する。

県民文化会館大改修

(5億2,740万円)

大ホール、小ホール、周辺環境を改修する。

学習情報提供システム整備

(6,720万円)

生涯学習の振興を図るため、コンピュータを利用した学習情報提供システムを導入し、各市町村にコンピュータの端末機を設置する。

「ふるさとの日」の制定

(3,242万円)

現在の和歌山県が誕生した11月22日を「ふるさとの日」(仮称)と定め、記念イベントを開催する。

おしらせ



募集

近畿青年洋上大学参加者

期間 8月16日～28日
 訪問地 中華人民共和国(天津、北京、大連) 大韓民国(釜山、慶州)

参加費 17万円
 募集人員 30人

応募資格 4月1日現在で原則として20～30歳の方

申込 4月28日までに各市町村青少年担当課へ

くわしくは申込先、各県事務所民生課、県庁青少年婦人課へ

青年海外協力隊員

募集期間 4月15日～5月31日
 対象 20～35歳の方

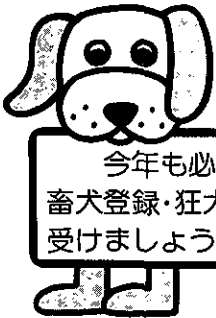
説明会 4月26日、5月14日、5月26日 県民文化会館 5月18日 紀南文化会館 5月19日 東牟婁県事務所 午後6時30分

から(5月14日のみ午後1時30分から)途中入場も可

くわしくは県庁青少年婦人課へ

県営団地空き家入居補充欠者

雄湊、今福第一・第二、西浜、城北(5、450円)～9、060円、2DK、浴室なし) 20戸 紀伊(9、470円、3DK、浴室なし) 15戸 川永(9、160円) 13、280円、2DK、3DK) 58戸 千旦(13、490円) 16、480円、2DK、3DK)



今年も必ず
 畜犬登録・狂犬病予防注射を受けましょう。

18戸 鴨沼(13、900円) 19、980円、2DK、3DK) 17戸 栄谷(20、600円) 1、930円、3DK) 18戸 千旦第二(30、380円、3DK) 5戸 延時(23、690円) 36、050円、3DK) 11戸 西脇グリーン(28、840円) 50、470円、3DK、4DK) 40戸 和歌山東(45、320円、3DK) 5戸 三葛(40、170円、3DK) 5戸 東松江(30、960円) 46、350円、3DK、3LDK) 5戸 芝崎(6、590円、2DK、浴室なし) 2戸
 視覚障害者向け 西脇グリーン(28、840円、3DK) 1戸
 用紙配布 4月10日～18日 県庁正面玄関案内所、県庁住宅課、各土木事務所(和歌山土木を除く)
 申込 4月19日、20日 県民文化会館
 くわしくは県庁住宅課へ



ごあんない

身体障害者相談日の変更

県身体障害者更生相談所が実施する定例の相談日は、四月から次のように変更されました。
 くわしくは県身体障害者更生相談所☎(0734)4515311、または各福祉事務所へ

和歌山・海南・海草・那賀・有田	身体障害者福祉センター	毎月第1水曜日 毎月第3木曜日 午後2時～4時
有田・御坊・日高	御坊市社会福祉センター	奇数月第1木曜日 午後2時～4時
橋本・伊都・那賀	伊都総合庁舎	偶数月第1木曜日 午後2時～4時
日高・西牟婁・田辺	田辺市青少年研修センター	偶数月第2木曜日 午後2時～4時
新宮・東牟婁	新宮市福祉センター	奇数月第2木曜日 午後1時～3時

労働保険の年度更新手続きは5月15日までに

労働保険(労災保険・雇用保険)の申告、納付期限は5月15日までです。

くわしくは和歌山労働基準局☎(0734)2212171、各労働基準監督署または県庁雇用保険課へ

ふるさとを見よう、知ろう、話し合おう

「県政バス教室」参加者募集

Aコース 5月12日

県民文化会館前～樺山ダム～愛徳荘～中津村ふるさと産品展示販売所～養鶏試験場 一人 1,400円

Bコース 5月24日

県民文化会館前～高野龍神スカイライン～花園村生産物直売所～ごまさんスカイタワー～農業大学校 一人 1,400円

Cコース 5月24日

JR田辺駅前～植物公園緑花センター～湯浅手作りしょう油工場～暖地園芸総合指導センター 一人 500円

申込 ハガキに参加希望者全員(1枚3人まで)の氏名、年齢と代表者の住所、電話番号、希望コースを記入し、4月25日(消印有効)までに、A、Bコースは県庁広報公聴課、Cコースは〒646 田辺市朝日ヶ丘23-1 西牟婁県事務所総務課 ☎(0739)22-1200へ
 (定員は各コース50人で、申込多数の場合は抽選)
 くわしくは申込先へ

県での物品取引を希望の方へ

新たに県との物品取引を希望される方は、5月1日から31日の間に申請書類を県庁管財課または各県事務所会計課へ提出してください。

くわしくは書類提出先へ

営業用のはかりは必ず定期点検を受けましょう

取引や証明に使うはかりは使用の場所が市の場合には毎年、町村の場合は3年に1回検査を受けなければなりません。県では今年も各地で定期検査を行います。

◆那賀町 4月6日～7日
 ◆粉河町 4月11日～12日
 ◆有田市 4月18日～20日
 ◆打田

町 4月25日～26日 ◆桃山町
 5月9日 ◆貴志川町 5月11日

くわしくは各市町村担当課、県庁計量検定所へ

高齢運転者講習会「シルバー教室」に参加を

県警察本部では、高齢者のための安全運転講習会を開催しています。視力、体力の減退を感じている方、ぜひ、ご参加ください。

日時 毎週火曜日 午後2時から
 場所 交通センター(和歌山市西)

対象 おおむね65歳以上の方
 受講料 無料
 くわしくは交通センター☎(0734)7311721へ

催し

県立近代美術館 ☎(0734)36-1331

館蔵作品展 I 4月7日～5月7日 入場無料

植物公園緑花センター ☎(0736)62-4029

植物の趣味教室 「春の原色押し花の作り方」第1回 花の押し方 4月16日 第2回 作品の仕上げ 4月23日 定員40人 電話でセンターへ申し込み(先着順、無料)

すみれ展 4月14日～16日 展示と即売

えびね展 4月22日～23日 展示と即売

みどりの日記念式典 4月29日 アトラクションふるさとの店5周年記念 4月29日、30日 商品の販売

4月26日～5月2日はみどりの週間です

お気軽にどうぞ

交通事故相談

〔常設相談〕月～土曜日

場所 県庁交通事故相談所、東牟婁県事務所

〔弁護士による相談〕◆県庁交通事故相談所、毎月第1、3月曜日 受付 午後1時～2時 ◆東牟婁県事務所 毎月第1、3土曜日 受付 午前10時まで

〔巡回相談〕◆西牟婁県事務所 4月18日 ◆伊都県事務所 4月26日 ◆日高県事務所 5月2日 受付 午後3時まで

県民相談

〔常設相談〕月～土曜日

場所 県庁県民総合相談室、各県事務所

〔弁護士による法律相談〕毎月第2、4金曜日 受付 午前11時まで 場所 県庁県民総合相談室

〔移動相談〕◆橋本市古佐田会館 4月18日午後1時～4時

電波で結ぶあなたと県政

テレビ テレビ和歌山

きのくに'89 金曜日 午後7時～
(再) 日曜日午前11時～
県民チャンネル 月水金 午後8時55分～
火木土 午後9時25分～
豊かに生きる 土曜日 午後6時～

ラジオ 和歌山放送

県民マイク 土曜日 午後2時30分～
県庁だより 月～日 午前11時40分～
(再) 月～金 午後5時40分～
(再) 土・日 午後6時～

今月から「きのくに'89」の放送時間が変わりました。

考えよう 知ろう 語ろう 北方領土

おしらせ

県庁・県教育庁は

試験

平成元年度前期技能検定

職種 造園、鋳造、機械加工、
鉄工、建築板金、工場板金、仕
上げ、電子機器組立て、電気機
器組立て、建設機械整備、婦人
子ども服製造、家具製作、建具

野鳥飼育許可の手続きが変わります

野鳥を捕ったり、飼ったりするには許可が必要です。

許可が受けられるのは、メジロ、ホオジロ、ウン、マヒワの4種類で、一世帯一羽に限られています。

また、4月16日から、野鳥を飼うときの許可、許可更新の際、鳥に足環(リング)を付けることになりました。

くわしくは各県事務所林務課へ

製作、プラスチック成形、石材施工、機械製麺、とび、左官、築炉、ブロック建築、タイル張り、畳製作、防水施工、内装仕上げ施工、サッシ施工、化学分析、塗装、塗装、広告美術仕上げ、写真、フラワー装飾

実技試験 6月16日から9月11日までの指定する日

学科試験 8月27日、9月3日、10日の指定する日

申込 4月3日～17日に〒640和歌山市砂山南3-3-38 和歌山技能センター内 県職業能力開発協会☎(0734)25-4555へ

くわしくは申込先へ
理容師・美容師試験
学科試験 5月15日 県経済センター、県民文化会館、西牟婁総合庁舎 実地試験 理容師 7月3日 美容師 7月17日 県民文化会館

願書受付 学科 4月10日～17日

二級建築士・木造建築士試験
試験日・会場 学科試験 7月9日 設計製図試験 9月17日 県立和歌山工業高校

願書受付 ○和歌山市ト半町38 和歌山県建築士会 4月17日～21日 ○田辺市朝日ヶ丘15-14 同田辺支部 新宮市五新1-32 同新宮支部 4月17日、18日



県推奨映画「風之又三郎」

日 実地 6月5日～12日 居住地を所轄する保健所へ 受験手数料 それぞれ4,000円

くわしくは各保健所、県生活衛生課へ
二級建築士・木造建築士試験
試験日・会場 学科試験 7月9日 設計製図試験 9月17日 県立和歌山工業高校

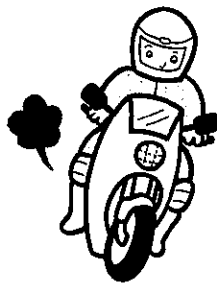
な経費を補助します。
対象 県内の中小企業
補助額 経費の3分の2以内 一件100万円から500万円まで
受付期間 5月20日まで
くわしくは県庁産地振興課、各県事務所産業課へ

地域産業技術改善費補助金
新製品、新技術の開発に必要な

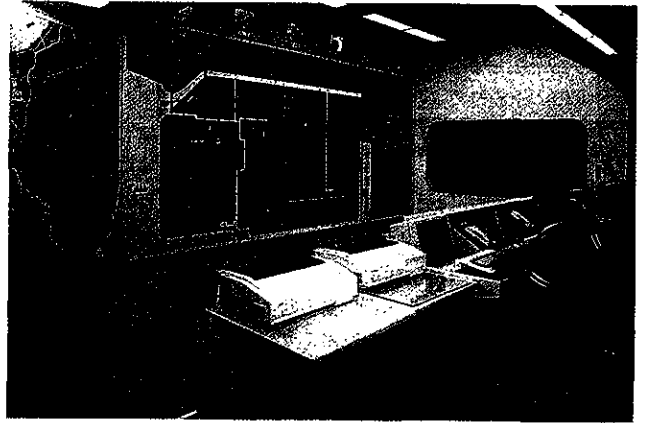
自動二輪を運転するみなさんへ
一流レーサーから
安全運転のアドバイス

平 忠彦 道路は自動車、自転車、人が色々な動きをしています。つねに道路状況に適した運転ができるようにしよう。

辻本 聡 レース場と違い、道路は反対車線の車もきます。カーブの手前の直線では必ず減速して、コーナーに入ろう。岡部篤史 ライディングフォームを見れば、ライダーのレ



ベルは一目でわかります。正しいポジションで乗らないとバイクをコントロールできません。
清水雅広 自分の技量にあった運転をしよう。スピードは誰にでもだせる。むしろ、ブレーキを踏むことが勇気だと思おう。

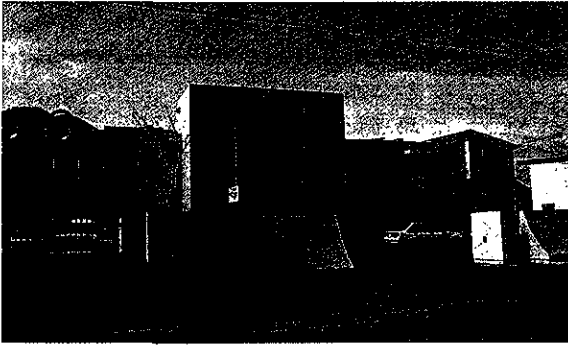


最新コンピュータを導入

—ブルーライン24・26・42

交通混雑の緩和を図るため、県警察本部は、最新式のコンピュータ三台（ブルーライン24・26・42）を導入しました。今まで、交通管制センターから制御できるのは、和歌山市と海南市の一部でしたが、このコンピュータによりエリアが田辺市、橋本市まで広がりました。県警が行った実験では、橋本市と和歌山市（県庁）の信号待ち回数が三十二回から十九回に、田辺市と和歌山市（同）が三十三回から二十四回に減少。スピードアップによる経済波及効果は、年間約百五十六億円になると試算しています。

プールもまもなく完成



県立きのかわ養護学校

高野口町にある県立きのかわ養護学校は、肢体不自由課程と精神薄弱課程が併設された学校で、生徒数は小中高あわせて百十六人。三台のスクールバスを使い、伊都、那賀、遠くは有田市からも生徒が通っています。

開校は、昭和六十一年四月。昭和六十年十二月から建築工事を行い、普通教室や、機能訓練室などの特別教室を次々と完成させましたが、目下、プール建設工事が急ピッチで進んでいます。障害に負けずにがんばっている子どもたち、この夏には、みんなで楽しく水しぶきをあげそうです。
(高野口町)

わかやま北南

秋山選手のようにになりたい

昨年のプロ野球のドラフト会議で、西武ライオンズから3位指名された日高高校中津分校卒業の垣内哲也選手が、3月20日、仮谷知事にプロ入りの報告をしました。

既にキャンプに参加していた垣内選手、「練習はきつけれど、3、4年後には一軍に上がり、秋山選手のようにホームランを打てるバッターになりたい」と話していました。

全国初という分校からのプロ入り選手、ポジションはキャッチャー。がんばれ、分校の星！



会議は「ひのき」や「杉」で

あなたの会社の会議はスムーズですか。イライラの連続ではありませんか。

ぬくもりの感じられる天然素材の会議机をお使いください。中辺路町菅木材加工場で生産している会議机は、「ひのき」や「杉」の集成材を使用しており、高級感もいっぱい。長さ一メートル八十センチ、幅四十五センチの規格品（一万五千円）のほかに、特注も可能です。

お問合せは、☎(0739)6411596へ (中辺路町)

通し矢日本記録保持者 和佐大八郎範遠

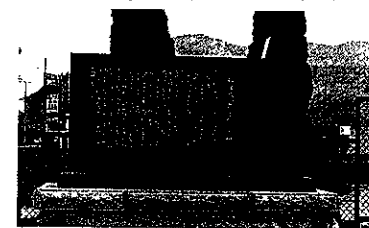
昨年、和歌山市和佐中の和歌山市立河南総合体育館前に、地元自治会の人たちを中心に、弓友和佐大八郎を顕彰する碑が建てられました。

和佐大八郎は、江戸年間貞享三年（一六八六）、京都の三十三間堂の通し矢において、二十四時間で八、一三三本の矢を通す日本新記録を打ち立てた人です。

寛文三年（一六六三）、今の和歌山市狛宜に、紀州藩士和佐藤右衛門の長男として生まれ、幼い頃から弓道を竹林派師範、吉見台右衛門に習い、十六歳のときに、三十三間堂の堂前肩ために挑んでいます。

その後もけいこに励み、貞享三年に尾張藩の星野勘左衛門の記録を破る射数一三、〇五三本のうち通し矢八、一三三本の日本新記録を打ち立てたのです。

いまだに破られていない大記録を打ち立てた大八郎は、正徳三年（一七一三）、田辺で亡くなりました。



シリーズ⑩ 知識

あ と が き

● 四月は行政にとって新しい一年の出発の年。これから一年間の県の仕事をとりまとめた予算を特集しました。
● 「県民の友」も四十二年目を迎えます。また、「県民の友」や「声の県民の友」（テープ版）も多くのみなさんのご協力をいただき、順調に発行回数を重ねています。本年度もよろしくお願ひします。
● 今月号から六・七面おしらせ欄の文字を少し大きくしました。